

2014年9月2日

報道関係各位

田辺三菱製薬株式会社
第一三共株式会社

2型糖尿病治療剤「カナグル[®]錠 100mg」新発売のお知らせ -日本発グローバル 糖尿病治療の新展開-

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中央区、社長：三津家正之、以下「田辺三菱製薬」）と第一三共株式会社（本社：東京都中央区、社長：中山譲治、以下「第一三共」）は、2型糖尿病治療剤「カナグル[®]錠 100mg」（一般名：カナグリフロジン水和物、以下「カナグル[®]錠」）が、本日、薬価基準に収載されたことを受け、9月3日（水）に新発売しますので、お知らせいたします。

「カナグル[®]錠」は、腎臓の尿細管において糖の再吸収に関与するトランスポーターであるナトリウム-グルコース共輸送体 2 (sodium-glucose cotransporter 2：SGLT2) を阻害することで、糖の再吸収を抑制、尿中に過剰な糖を排泄し、one dose で長期（52週）にわたり持続した HbA1c 低下効果を示す SGLT2 阻害剤です。

海外においては、本剤の導出先であるヤンセン・ファーマシューティカルズ（米国ニュージャージー州ラリタン市）が、「INVOKANA[®]（製品名）」として米国で承認を取得し、現在（2014年8月時点）までに、米国を含め、欧州、カナダ、オーストラリアなど、世界48カ国で承認を受けています。また、本剤は、国内および海外の11,000名を超える2型糖尿病患者さんを対象に実施した第3相臨床試験において、有効性、安全性が確認されております。これらの試験には、単独療法試験および他の血糖降下薬との併用療法試験のほか、腎機能低下、高齢、心血管系疾患合併など、様々な背景を有する患者さんにおける検討が含まれています。以上の国内外のデータを活用し、有効性、安全性に関する情報提供を行い、適正使用の推進に努めてまいります。

「カナグル[®]錠」は、田辺三菱製薬が製造販売を行い、田辺三菱製薬と第一三共が、「共同の方針」、「共同の戦略」によりプロモーションを展開し、DPP-4阻害剤「テネリア[®]錠」と合わせて糖尿病領域 No. 1 のプレゼンスの確立をめざします。

田辺三菱製薬と第一三共は、2型糖尿病治療における新たな治療選択肢を提供するとともに、本剤に係る適正使用を推進し、患者さん一人ひとりの治療に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問合せ先	
田辺三菱製薬株式会社 広報部 TEL:06-6205-5211	第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部 報道関係者の皆様 TEL:03-6225-1126 株式市場関係者の皆様 TEL:03-6225-1125

「カナグル®錠 100mg」の製品概要



販売名	: カナグル®錠 100mg (CANAGLU®Tablets 100mg)
一般名	: カナグリフロジン水和物
効能・効果	: 2型糖尿病
用法・用量	: 通常、成人にはカナグリフロジンとして 100mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に経口投与する。
包装	: カナグル錠 100mg: 100 錠(10 錠×10) 140 錠(14 錠×10) 500 錠(10 錠×50) 500 錠(バラ)
薬価	: 205.50 円
製造販売承認日	: 2014 年 7 月 4 日
薬価基準収載日	: 2014 年 9 月 2 日
発売日	: 2014 年 9 月 3 日
製造販売元	: 田辺三菱製薬株式会社
プロモーション提携	: 第一三共株式会社